

### 真岡小1年 中澤倫子さん 全日本空手道選手権大会優勝



10月4日（日）、横浜市にある横浜武道館で行われた「第12回全日本空手道選手権大会」において、組手小学生1年女子の部で真岡小学校1年生の中澤倫子さん

んが、見事優勝しました。  
中澤さんは、10月14日（水）に市役所を訪れ、石坂市長へ大会の結果を報告しました。「全国大会で優勝して、とてもうれしかった、優勝するためにはいっぱい練習しました」と語り、それに対して石坂市長は「全国大会で優勝したことは、とても素晴らしいことです、これからも世界チャンピオンを目指して頑張ってください」と、健闘をたたえました。  
全国大会で優勝した中澤さんは、令和3年11月23日（火）に横浜市で開催が予定されている「第1回ワールドカップ」への出場権を獲得しており、国際大会での活躍が期待されています。

### 真岡児童館やさしきクラブ 国土緑化推進機構会長賞受賞



「真岡児童館やさしきクラブ」が、今年6月に（一社）全国森林レクリエーション協会第32回森林レクリエーション地域「美しの森」づくり活動コンクール」で会長賞を受賞、10月には、令和2年度「ふれあいの森林（もり）づくり」で国土緑化推進機構会長賞を受賞しました。  
10月14日（水）、真岡児童館の児童代表として、高橋さん、大塚さん、藤沼さんが市役所を訪れ、受賞結果を石坂市長に報告しました。真岡児童館は、開館当初から、磯山での清掃活動や美化活動を行っており、毎年実施している宿泊体験では、自然に触れ合う活動を行うなど、環境保全への関心を高める数々の取り組みが認められ、このたびの表彰となりました。  
また、今年9月には、真岡児童館でリサイクルショップを開き、その売上金などを、令和2年7月豪雨被害に遭われた方々への義援金として、市長に手渡しました。

### 家屋を取り壊したときは 税務課で手続きを

令和3年1月1日時点で、家屋（住宅、物置、納屋、店舗、事務所など）を所有している方は、令和3年度の固定資産税が課税されます。  
所有していた家屋を令和2年12月31日までに取り壊した方は、印鑑を持参の上、左記窓口へ「家屋滅失届」の提出をお願いします。

税務課固定資産税係 Tel 83・8114

### 芳賀地区合同公売会を 11月30日（月）から実施

地方税の滞納処分により、県と芳賀郡内の市町が差し押さえた財産（物品）を売却します。なお、公売会は中止になる場合がありますので、ご了承ください。

【入札期間】11月30日（月）～12月11日（金）

午前8時30分～午後5時15分

※12月5日（土）、6日（日）を除く

【入札場所】真岡市役所納税課

【公売物件の写真掲示場所】栃木県庁芳賀庁舎ロビー、真岡市役所1階市民ロビー

※写真掲示は11月30日（月）から

納税課納税推進係 Tel 83・8489

真岡県税事務所 Tel 82・2135

### みどりのおもてなし事業が 行われました

10月18日（日）、ふれあいの森伊勢崎で「地域で『みどり』のおもてなし事業」の一環として、植樹式と収穫祭が行われました。はじめに、嶋田副市長から「今後とも、里山を保全・整備するための素晴らしい活動を続けていただきたい」とあいさつがありました。

次に植樹式が行われ、嶋田副市長や栃木県東環境森林事務所の秋野所長らの手によって、エノキの苗が一本一本丁寧に植えられました。この植樹式は、地域における緑化への機運を高め、みどりあふれる県東地域づくりにつなげることを目的として、平成29年から毎年行われています。



その後、地元自治会による収穫祭が行われました。日頃の活動や自然の恵みに感謝し、地元で採れた食材を使用した温かい手作りの豚汁や、鮎の塩焼きなどが参加者全員に振舞われました。

### 真岡東小学校4年生が ウグイの稚魚を放流しました

10月28日（水）、真岡東小学校の4年生80人が、校舎西側のあさひ橋下流で、約13,000匹のウグイの稚魚を放流しました。

この事業は、魚たちがきれいな川の水で生きていくために、下水道の普及を啓発することを目的として、栃木県鬼怒川漁業協同組合の協力のもと、毎年行われています。子どもたちは、トラックで運ばれてきたウグイの稚魚を各自のバケツにすくい入れ、川岸に並んで放流しました。



放流を行う際は、ウグイの稚魚が冷たい川の水に驚かないように、ゆっくり水に慣らしながら川に泳がせます。子どもたちは、バケツに入ったウグイの稚魚を「大きくなつてね」、「元気でね」と声を掛けながら放流し、魚が泳いでいく姿を目で追いかけていました。

### 真岡小2年 上杉 愛莉さん 「新聞配達に関するエッセーコンテスト」で審査員特別賞受賞



10月28日（水）真岡小学校2年生の上杉愛莉さんが、日本新聞協会の「第27回新聞配達に関するエッセーコンテスト」小学生部門で、県内で初めて審査員特別賞を受賞したことを石坂市長に

報告しました。

賞を受賞したエッセー「はいたついでんさん、ありがとう」は、毎朝自宅に届いた新聞を祖父に渡すと「ありがとう」と感謝される上杉さんが、新聞配達員さんは夜間や早朝に新聞を配達してくれるため、誰からも感謝の言葉を掛けてもらえていないことに気づき、自分が「ありがとう」と声を掛けたい、という感謝する気持ちのつながりが感じられ、心温まる内容となっています。

市役所を訪れた上杉さんは「賞をもらってうれしかった」と笑顔を見せ、石坂市長の前で元気よくエッセーを朗読しました。